

## 重要取組シート

危機管理室 危機管理課

取組項目		防災行政無線の更新及び新規設置による情報発信手段の強化
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、防災行政無線スピーカーは自然災害時における避難情報の配信等するための一つの重要な手段である。そのため、堺市においては、計 121 基を整備している。</li> <li>・防災行政無線は電波法で規制されているが、電波法改正に伴うスプリアス対応（不要な電波を極力減らす）を行うための工事を要する。</li> <li>・また、老朽化した操作卓の更新は、喫緊の課題である。</li> <li>・さらに、近年の災害の激甚化、頻発化に対応すべく、新たに自然リスクがある地域に対して防災行政無線を新設し、的確に避難情報を発信していく必要がある。</li> <li>・これら防災行政無線の機器の更新、新設等を行いつつ、また、他の情報発信手段とも役割分担を図りつつ、自然災害リスクが高まった場合の避難情報等の的確な配信、それによる住民の的確な避難行動を確保していく必要がある。</li> </ul>
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・美原区の防災行政無線（アナログ 26 基）に関しては、デジタル化（スプリアス規格適合）及び防災行政無線網を一元化するための工事を行う。</li> <li>・想定最大降雨を対象とした浸水想定区域図が公表され、また高潮に係る浸水想定区域も新たに公表されたことから、自然災害リスクが高い区域であり、現在防災行政無線が整備されていない地域に関して、新規でスピーカー設置するため実施設計を行う。</li> <li>・なお、移動系デジタルに関しても、一部の機器でスプリアス対応が必要なため、整備手法について検討を進める。</li> </ul>
スケジュール	前期 (~7月)	<input type="checkbox"/> (7月) 新たな浸水想定区域（西除川・東除川、高潮）への対応に係る実施設計業務発注 <input type="checkbox"/> (7月) 新たな浸水想定区域への対応に係る基本設計業務発注
	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> (8月) 美原区防災行政無線工事発注 <input type="checkbox"/> (10月) 移動系デジタル無線機器一部入替（スプリアス対応）
	後期 (~3月)	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> (令和4年度) 新浸水想定区域の新規スピーカー設置工事実施 移動系デジタル機器一部入れ替え（スプリアス対応） <input type="checkbox"/> 操作卓更新を含めた無線システムの改修 <input type="checkbox"/> 移動系デジタル無線機器に代わる新たな通信機器の導入
進捗の状況	前期 (~7月)	<input type="checkbox"/> 操作卓の更新、移動系デジタル無線機器に代わる新たな通信機器等、防災行政無線の確実性を担保しつつ、本市の財政状況を踏まえた実施手法の検討（~7月）
	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> 新たな浸水想定（石津川水系）基本設計発注（8月） <input type="checkbox"/> 新たな浸水想定（大和川水系、高潮）実施設計発注（9月） <input type="checkbox"/> 美原区防災行政無線工事設計（~11月）
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> 美原区防災行政無線工事発注（2月） <input type="checkbox"/> 移動系デジタル無線機器に代わる新たな通信機器として IP 無線機をリース契約し、各局各区に配備（3月）

2025 堺市基本計画	該当する 施策	5- (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	
	寄与する KPI	—	
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI	—	
			目標値 (2025 年度)
			目標値 (2023 年度)